

障害者雇用支援を探る

企業や福祉事業所 諫早で対話交流会



新しい支援のかたちを探った交流会
―市立諫早図書館

企業と福祉事業所が新しい障害者雇用支援のかたちを探る対話交流会が、諫早市東小路町の市立諫早図書館であった。

企業や就労系福祉事業所、就職希望者の出会いの場を提供し、新たな価値観やきっかけを得る機会にしておくと、障害福祉事業所や学校、相談機関などつくる市地域自立支援協議会就労部

会が昨年から開き2回目。

5日に開催。市内の15企業と12事業所から約40

人が参加し、事業内容や

取り扱っている商品などを互いにPRした。「雇用は無理でも商品購入などで応援できる」などと

支援の輪を広げる方法を探った。昨年の参加者が実践した取り組みの紹介や、就職希望者と企業との交流会もあった。

金谷町の保険代理店「せんねん」の平辻真哉さんは「障害者のことを知られて有意義だった。こういう機会が増えれば社会は良くなると思う。

偏見や差別のない社会になれば」と期待を寄せた。

(江崎博子)